

2023年5月30日発行

23-22号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**ほしいものが手に入っても**

　多くの人が「お金があれば、きっと楽に生きていける」と思っているはずです。ほんとうにお金があれば楽で、幸せに生きていけるのかと問い、そうではないという証拠も今までの歴史でたくさんあるのですが、「それでも、あれば良いのでは」と思うのではないでしょうか。

　中国の富裕層についての記事の中に、その富裕層が抱えている「意外な悩み」について書いてありました。中国の富裕層の中には、日本の不動産を購入して、日本へ移住した人々がいるということです。その人々は、日本に引っ越してきても、毎日汗水たらして働く必要はなく、生活資金は有り余るくらい十分に持っているそうです。その人々の多くは、儲けるために不動産ビジネスをおこない、それで財を成したことに誇りを持っていて、中国を脱出して日本で新生活の一歩を踏み出すことにも、とりあえずは大きな満足を感じているということです。しかし、その人々は日本に引っ越してきて最初のうちはそうした満足感を抱いているものの、2～3週間も経つと、日本での生活に飽きてしまうそうです。日本は中国とは違い、道端で誰かが大声でケンカしているところもめったに見かけないし、街が静かで、クルマがクラクションなども鳴らしていることも少なく、社会全体が整然としているのですが、物事が予定通りに進み過ぎて、刺激が少ないと感じるということです。

　暇になってしまうので、ある中国人富裕層は、「画期的なひまつぶしをしている」と言っているそうです。それは、朝ゆっくり起きて、わざわざ遠くにあるホームセンターまで出かけ、クギなど大工道具を少しだけ買ってくることなのだということです。少しだけ買って来て、家で棚を作り、また、足りない分は少しだけ別の日に買いに行く。そのようにして、一日つぶせるということです。暇のつぶし方として「釣り堀に行って1日中、釣りをすること」「都内にあるミシュランの星付きレストランに1日1軒ずつ通うこと」などあるそうですが、それでも、すぐに飽きてしまうということでした。その富裕層は欲しいものを手に入れたはずです。しかし、意外な悩みを抱えていることを、思いがけず知ったと、記事のライターは書いていました。（５月27日現代ビジネス＜日本に移住した「中国の富裕層」が、「意外な悩み」をかかえていることをご存知ですか＞より）

　いま、あなたはなにが欲しいですか。お金でなくても、健康、愛情、友人、やりがいのある仕事、趣味など、いろいろあるでしょう。そうではなく、問題さえなければ良いと思われますか。しかし、ほんとうにすべてあなたの思いどおり手に入れても、次に、なにか欲しいものが出て来るしかないのです。なぜ、いまに満足できないのでしょうか。それは、あなたが欲しいと思うことが手に入らないからではありません。まことの平安や満足は、あなたが求めていることではないのです。では、いったいなにがまことの平安であり、満足なのでしょうか。いつまでも、のどが渇いたときに海水を飲むようなことを続けるのではなく、まことに満たされる水を手に入れたいと思いませんか。そのまことの「いのちの水」について、あなたにお知らせしたいことがあるのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください